

◆「第4回キンボールワールドカップ2007」レポート◆

大会名称：KIN-BALL® sport The 4th World Cup（第4回キンボールワールドカップ2007）

派遣期間：2007年10月30日（月）～5日（月）

大会期間：2007年10月31日（火）～3日（土）

開催場所：スペイン・ビルバオ市 La Pena Sports Centre

主催：国際キンボール連盟

主管：スペインキンボール連盟

参加国：7ヶ国-カナダ、スペイン、ベルギー、フランス、ドイツ、デンマーク（男子の部のみ）、日本

部門：男子の部、女子の部

日本はこれまでの3大会、男子、女子の部ともにすべて準優勝の成績（優勝はすべてキンボールの母国カナダ）でした。参加前は今回果たして世界、特にカナダとの差はどうなっているのか、他の国の戦い方、レベルアップはと、興味のある点も多くありました。

今大会については、少数のスペインキンボール連盟メンバーで運営しており、なかなか予定通りに進まないことも多々ありましたが、一生懸命さが伝わって来るものでした。

試合内容については、日本チームの小さな身体でも走り回って俊敏にレシーブする姿は世界に大きなインパクトを与えたのではないかと思います。そのことも含め、正々堂々とした戦いぶりが女子チームのフェアプレー賞、石田秀代選手の女子MVPの獲得につながったものと考えます。

特に男子の予選カナダ戦、女子の予選第3試合は紙面でこの感動をどう伝えたらいいのか分かりません。男子の対カナダ戦は残り時間1分を切った時点でリード。残念ながら土壇場で逆転されましたが、世界のキンボールの歴史に残る試合になるのではと非常に興奮しました。女子の予選3試合目は唯一日本だけが予選2試合ともカナダと対戦したため、決勝進出はピリオドポイントを全て取って、最終的に1位にならなければなりません。しかもスポーツマンシップポイントも落とせない5点取得死守。これが予選突破に課せられた絶対条件でした。この絶体絶命の大きなプレッシャーのなかで、この条件を全てクリアし、勝利した時は本当に感動し、涙が出そうになりました。

最終的に今回も男女とも準優勝という結果。残念ながら今回もカナダの壁を越えることはできませんでした。すがすがしい試合内容であったと思います。今回、確固たる一団として活動できた選手の皆さん、ヘッドコーチ、トレーナー、スタッフの皆さんに心から感謝します。そしてスペインキンボール連盟の皆さんに敬意を称します。

決して遠くない時期にカナダを破るため、日本はどうしたらいいのか、日本キンボール連盟としても組織的に取り組んでいかなければならないと考えています。また、今回の参加者の皆さんには、この経験を生かしなんらかの形で日本のキンボールの普及推進に生かしてもらえればと思います。皆さんが活躍できる場を提供することも日本キンボール連盟の大きな使命だと考えております。

最後になりましたが、この派遣に際し、ご支援、ご協力頂いた関係諸団体および関係者の皆様に心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

■大会結果■

・女子の部

優勝 カナダ

準優勝 日本（予選2位）

3位 フランス

フェアプレー賞 日本

MVP 石田 秀代（日本）

・男子の部

優勝 カナダ

準優勝 日本（予選2位）

3位 フランス

フェアプレー賞 スペイン

MVP Pascal Giguere（カナダ）



◆「第4回キンボールワールドカップ2007」フォトギャラリー◆



観客席が埋まるのがワールドカップ！



もちろん試合前には国歌斉唱もあります！



試合終了後の記念品交換
ドイツ・キャプテンと奥田キャプテン



世界 No.1 プレーヤー！
女子 MVP 石田秀代選手



今回は応援も充実していました！

★より詳しいレポートが日本キンボール連盟ホームページにてご覧頂けます。選手からのレポートも随時 UP 予定です。

日本キンボール連盟ホームページ <http://www.newsports-21.com/Kin-ball/>

トップページ→レポート→第4回キンボールワールドカップ2007 より